

【留意事項】

- ▶ 開発事業等における行政指導による設置の場合、施設の形状・貯留容量、またオリフィス柵（調整放流柵）や放流管（オーバーフロー管）などの付帯構造物については、各行政の技術基準等に準じ設計されます。
- ▶ 浸透タイプでは、設置現場の浸透能力に応じて処理量が異なるため、現地浸透能力試験（ボアホール法）等により、浸透能力試験を行うことお勧めします。
- ▶ 地下水位が高い場合は適用できないことがあります。
- ▶ 構造ユニットは軽量であるため、埋戻しは極めて慎重に行ってください。

【本体成型ユニット ラインアップ】

 アクアトラップ® ※1		アクアプラネット® ※1、※2
		
A 5 型（柱数 5 本、2.2 kg / 個）	A 9 型（柱数 9 本、2.7 kg / 個）	（柱数 8 本、4.5 kg / 個）
一般車両用駐車場・緑地・グランド等 ※3	大型車両の進入箇所 ※3	積載効率を向上させ大規模にも対応できる新型ユニット ※3
【基本寸法】 本体ユニット寸法：500×500×273.5 平板（底板）寸法：500×500×20 平板ハーフ寸法：500×248×20 H 駒寸法：21.5×15.7×25.0		本体ユニット寸法：500×1000×273.5 平板寸法：500×500×20 平板ハーフ寸法：500×248×20 底板寸法：500×500×20

※2 アクアプラネット® は雨水貯留浸透技術協会認定品ではありませんが、財団法人下水道新技術推進機構において新技術研究成果として証明されております。

※3 適用場所は目安であり、各現場の諸条件により検討する必要があります。また、大型槽は耐震上、槽を分割設置することが望ましいとされています。